

まちの先生講座 講座企画書

講師名 新井 栄二

講師紹介（自己紹介）

元都立高校英語教員・英検面接委員、現在社会人対象の英語講師、英検1級・通訳ガイド資格取得

講座名 話すためのやり直し英文法（英検準2級程度～）

PRポイント

知識としての英文法を自在に使いこなして、脳と口の筋肉のネットワークを作り上げることをめざします。そのために文法知識を整理し、多くの問題を解き、会話練習をして発信力を高めます。

講座内容

【1コマ目】

全コマを通じて自己表現に役立つ文法項目と構文を扱い、理解→応用→会話練習の順番で授業を進め表現能力を高めます。

〔依頼、勧誘、許可、申し出表現〕 Let me～./What[How]about～?/Why don't you～?/Would you mind if～?他。

【2コマ目】

〔動名詞表現〕 自分の気分を相手に伝える (feel like ～ing) /自分の好みを話す (like～ing と like to～の違い) /勧誘表現/動名詞を目的語に取る動詞の仲間 (mind, enjoy, give up…) /動名詞の慣用表現、他。

【3コマ目】

〔wh 疑問文、SV+wh 名詞節〕 日常生活の様々なシーンにおいて相手のことや不明な事柄を尋ねられるようになります。間接疑問文や丁寧な表現にも留意して相手に失礼にならない問い掛けに習熟します。

【4コマ目】

〔wh 疑問文、SV+wh 疑問文〕 次の内容について質問することができるようになります：相手の状況・情報・調子/相手の行為の頻度/飲み物や食べ物の種類/相手に同情を示す/どこで何ができるか尋ねる。

【5コマ目】

〔不定詞〕 want to~/would like to~/I' m glad to hear that/be willing to~/manage to~/have to~/It' s time for you to~/I find it difficult to~/All you have to do is~/「タフ構文」/慣用表現、他。

【6コマ目】

〔助動詞〕 can, will, may, could, would, might, should などの用法を学ぶことに話し手や主語の意見や主張に様々な色合いを添えることができます。助動詞は控え目な丁寧表現にとって大きな役割を果たしています。

【7コマ目】

〔現在完了〕 現在完了時制を使用することによって次のメッセージを相手に伝えることができます：自分の経験・状態を述べる/相手の経験や状態を尋ねる/驚きや感動を表現できる/時間の経過を表す/過去時制との違いを理解する。

【8コマ目】

〔未来・予定表現〕 次の未来・予定表現が表す意味の相違について学びます：will~/be going to~/be~/ing/will be~/ing/be to~/現在の状況によって、どの形を使うかを数多くの例を通して習熟していきます。

【9コマ目】

〔SV+that 節〕 この構文は次の内容を表す際に便利です：様態「~ようだ」を表す/許可や提案を述べる/断言できないことを示す/相手の誘いを断わる/相手を励ます・ねぎらう・共感を示す/自分の考えを伝える/喜怒哀楽を示す。

【10コマ目】

〔仮定法〕 仮定法は決して難しくありません。日常会話の中で多用される仮定法をマスターして、丁寧な依頼や感謝の表現、切なる願い、事実と反する仮想、要求・提案・性の強調などの表現について学んでいきます。

受講者に持参してもらう物

辞書と筆記具

使用教材

自作の教材を用意します。